

「市の財政状況と経営改革」住民説明会会議録

1 会議の名称	「市の財政状況と経営改革」住民説明会
2 開催日時	平成 26 年 10 月 16 日（木） 19 時 00 分～21 時 10 分
3 開催場所	竹岡コミュニティセンター
4 審議等事項	持続可能な行政運営に向けて
5 出席者名	（説明員）佐久間市長、高橋副市長、小泉総務部長、 刈込企画財政部長 （事務局）小柴行政管理課長、重城財政課長 （司会）笹生総務課長
6 公開又は非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	富津市情報公開条例第 23 条第 号に該当 （理由）
8 傍聴人数	80 人（定員 人）
9 所管課	総務部行政管理課行革推進係 電話 0439-80-1211
10 会議録（発言の内容）	別紙のとおり

「市の財政状況と経営改革」に係る住民説明会会議録

発言者	発言内容
総務課長	<p>定刻の時間を過ぎましたので、始めさせていただきます。</p> <p>本日は、夜分お疲れのところお集まりいただきありがとうございます。</p> <p>ただ今から、「市の財政状況と経営改革」に係る住民説明会を開催いたします。</p> <p>今回の説明会につきましては、先の新聞・テレビ等の報道につきまして、改めて市民の皆さまにお伝えすることを目的として小学校単位の11地域で開催するものでございます。</p> <p>また、本説明会を開催するに当たりまして、地元の区長さんや役員さんには、期間のないなか、会場の手配や回覧等に特段のご配慮をいただき誠にありがとうございました。</p> <p>次に、説明の前に、本日の説明員の紹介をさせていただきます。</p> <p>はじめに、市長の佐久間清治でございます。</p> <p>副市長の高橋恭市でございます。</p> <p>経営改革等を主管する総務部長の小泉義行でございます。</p> <p>財政運営等を主管する企画財政部長の刈込幹夫でございます。</p> <p>申し遅れましたが、本日の司会進行を務めます総務部総務課の笹生と申します。よろしく願いいたします。</p> <p>次に、説明資料がお手元にあるかご確認をお願いします。よろしいでしょうか？</p> <p>最後になりますが、ご質問につきましては、市長以下説明員の説明の後にお受けしたいと思っておりますので、予めご了承をお願いいたします。</p> <p>なお、説明を含め一応の終了の時刻の目安を、午後9時ごろと考えさせていただいておりますけれども、状況によって変更させていただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、はじめに市長からご説明申し上げます。</p>
市長	<p>皆さん、こんばんは。</p> <p>夜分、お疲れのところ、また、本来であればお家で寛ぐ時間かと思っておりますけれども、ご参集いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>この度の、富津市の財政状況について、新聞・テレビの報道、あるいはインターネットの記事等を通して住民の皆さん方に、ご不安とご心配をおかけいたしましたことにつきまして、改めてご説明するためにおじゃまいたしました。</p> <p>座って説明させていただきます。</p> <p>まず、皆さんに正確にお知らせしなければならないことは、富津市は、これまで赤字を一度も出したことはありませんし、現在、赤字になっているわけではございません。</p> <p>今回、記者発表させていただきましたのは、このまま何もせず行政運営を続けていくと、財政状況は赤字になり、5年後に財政破たんしてしまう可能性があるということでございます。</p> <p>富津市では、これまで安全・安心のための事業を優先して行ってき</p>

たこと、年々増加する社会保障費、また、税収の減少などにより収支不足が見込まれるなかでその財源不足を補うため、市の貯金であります財政調整基金を取り崩して参りました。

富津市の財政状況がこれまでと大きく違うのは、この財政調整基金が底をつき、平成 27 年度以降の赤字決算が現実のものとなったことからでございます。

お手元に配布いたしました資料中段左の「収支見込みのポイント」をご覧ください。

このままでいきますと、平成 27 年度から 31 年度までの 5 年間の財源不足額は 28 億円、平成 30 年度には積み重なった赤字額が 22 億円となり、財政再生団体となる可能性のある極めて厳しい見込みであります。

財源不足を補うための財政調整基金残高は、わずか 2 億円であります。

何度も申し上げますが、富津市は、これまで赤字を一度も出したことはありませんし、現在、赤字になっているわけではありません。

しかし、従前の財政収支改善策や、単年度の予算査定を中心とした歳出削減などの取り組みだけでは、この状況を克服することは困難であります。

そのために、これまでの財政運営だけに目を向けた改革ではなく、行政運営全体を見直す経営改革を断行するものであります。

次に、資料最下段の四角枠、経営改革内容をご覧ください。

これまで住民の皆さんから問い合わせをいただいておりますが、基本的に住民サービスは適正に維持して参ります。

まず、「①将来に向けての財政基準の作成及び実行」ですが、ここにお示ししました取組みを中心とした経営改革のための具体的なプランを策定するとともに、これまで財政調整基金を取り崩して財源としてきた富津市の財政運営を反省し、当該年度の歳入をもって歳出を賄うなど財政規律を厳格化して参りたいと考えております。

次に、「②公共施設の見直し」ですが、現在の危機的な財政状況を招いた大きな要因は、多くの公共施設を建設する際に、財源とした起債の償還額とその維持管理費の増大にあるといえます。市として真に必要な施設だけを将来世代に良好な状態で残し、それ以外の利用度の低い施設や、維持管理費の高い施設などは、売却や広域化などを積極的に進めて参りたいと考えております。

次に、「③事務事業の聖域なき抜本的な見直し」、「1 税収の確保」ですが、今後、税収の増加が見込まれない状況のなか、引き続き、滞納処分により税負担の公平性の確保をして参りたいと考えております。

「2 職員数の削減」ですが、現在の危機的な財政状況を回避するには、まず、内部経費を削減することに全力を尽くさなければなりません。歳出の大きな部分を占めます「人件費」の割合を削減することは当然であり、職員数の大幅な削減を実行して参りたいと考えております。

「3 行政サービスの見直し」であります。サービス水準を維持しながら、公共として将来にわたって提供すべきサービスの範囲はどこまでか、あらためて考える時期に来ていると考えます。民間に任せるべき事務も多くなってきており、サービス提供のあり方は多様化しておりますので、公共の直接行うべき範囲、民間に委ねるべき範囲を考えあわせ見直していきたいと考えております。

「4 受益者負担の見直し」ですが、行政が、特定の者を対象とし、サービスの給付をする場合、無料ないし過度に低廉な料金で提供することは、公平性の観点から望ましいものではないと考えられます。行政サービスのコスト負担について、どこまでを「受益者負担」とするのか、見直して参りたいと考えております。

「5 民間活力の活用」ですが、行政サービスを受ける住民の皆さんにとっては、サービスの質が保証されることが一番重要であり、それが担保されれば、民間が供給する方が効率的である場合が多く見受けられます。行政サービスのなかでも、民営化・民間委託化が可能な分野は、費用対効果を考慮し、積極的に推進し、効率的なサービス提供を図って参りたいと考えております。

次に、資料下段右の「富津市経営改革会議」をご覧ください。

これら経営改革の内容を話し合うため、有識者で構成する「富津市経営改革会議」を設置いたしました。

今月 31 日の第 1 回会議をはじめといたしまして、議論していただくことを考えております。

最後に、この経営改革につきましては、私を先頭に、職員一丸となって断行して参ります。

皆さまの更なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申しあげまして説明を終わらせていただきます。

総務課長

続きまして、補足説明を副市長及び両部長から申し上げます。

副市長

改めまして、皆さんこんばんは。

本日は、お忙しいなか、また、お疲れのところお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

今回マスコミ等で報道されました、現在の市の財政状況につきまして、皆さんに大変なご不安をお与えしていること、この場を持ってお詫び申し上げますとともに、本日は、改めて現状をしっかりと報告させていただきたいと考えております。

大変失礼ですが、私も座らせていただきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

ただ今、市長が申しあげました経営改革の取り組みにつきましては、市長の命を受けまして、既に私の指示により、全庁を挙げて取り組みを始めているところでございます。市役所内部に関することにつきましては、あらゆる事務事業の見直し、確認を各部局に指示いたしますと同時に、職員の提案や意見も取り入れ、また民間の感覚、角度を変えて物事を考える、今までと同じではなくて、新たな形で少しでも皆

<p>企画財政部長</p>	<p>さまへのサービスアップにつながることを、また少しでも経費の節減につながることを、常に職員一人ひとりが頭に入れて仕事に取り組むよう伝えているところであります。</p> <p>また、今後は、経営改革会議のご意見を伺いながら、経営改革全般の方向性をまとめて参りたいと考えております。差し迫っては来年度予算がございませう。来年度の予算に関することは、できるものから即実行して参りたいと考えておりますので、今後とも皆さま方には、ご理解のうえご協力賜りますようお願いを申し上げます。</p> <p>どうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>ただ今市長が「財政状況」につきまして説明いたしました、私から「このような財政状況に至った原因」につきまして、補足して説明させていただきます。失礼して着席させていただきます。</p> <p>本市は、平成 11 年度にそれ以前の事業の借入金によりまして、債務が増大したことから「財政非常事態宣言」を宣言いたしました。</p> <p>そこで、債務を減少させ危機的な状況を回避するために、平成 11 年に「財政健全化計画」を策定いたしまして、これに基づき財政の健全化に向けて計画を実行し、その効果によりまして債務が減少したことから、平成 17 年度には「財政非常事態宣言」を解除し、その後もここで定めた財政収支改善策を恒久的なものとして、取り組んできたところであります。</p> <p>しかしながら、人口のピークであります昭和 60 年から続く生産年齢人口の減少や、長引く景気の低迷による個人、法人市民税の減収、また、税収の根幹、幹となっております固定資産税の大幅な減収に加え、生活保護者の増加や、高齢化の進行による障がい者や、介護を必要とする方が増加いたしまして、扶助費などが毎年増え続け、年々財政運営は厳しさを増しているところでございませう。</p> <p>このような状況のなかで、歳入の減少に対応いたしました職員の定員管理を中心とする総人件費の抑制も不十分であったこと、また、近年、財政調整基金、市の貯金ですけれども、などを活用しまして、身の丈に合わない、収入に見合わない総合計画をはじめといたしまして、様々な計画による事業を行ってきた事が、今般の状況に至った原因と考えております。</p> <p>また、環境要因としては、財政力が全国有数の裕福団体でございませう、袖ヶ浦市、君津市など圏域内の他市と歩調を併せまして、いろいろな事業を拡大してきたことも財政状況悪化の一因であると考えております。</p> <p>今回公表いたしました、収支不足、来年度の財源不足額は 3 億円ありますが、その一般財源総額 110 億円に占める割合は 3%でございませう。これを報道による夕張市の数値を申し上げますと 700%、収入の 7 倍の赤字があったということでございませう。ですから当市の場合は、夕張市とはまったく異なり、比較にはなりません。</p> <p>経営改革の実行により、十分回復可能な数字であることをご理解いただければと存じます。</p>
---------------	--

<p>総務部長</p>	<p>以上で説明を終わります。</p> <p>よろしく願いいたします。</p> <p>私から、今まで取り組んできた財政健全化対策、財政収支改善策、行財政改革につきましてご説明させていただきます。座って説明をさせていただきます。</p> <p>まず、財政健全化対策を、平成 5 年度から 16 年度まで実施し、財政非常事態宣言を解除いたしました、平成 17 年度から財政収支改善策を実施して参りました。</p> <p>また、これに並行して、行財政改革を、平成 11 年度から平成 15 年度までを第一次とし、平成 16 年度から 21 年度まで第二次、平成 22 年度から 24 年度までを第三次として推進してきたところでございます。</p> <p>これらの実績でございますが、まず、歳入確保策といたしまして、これまでの影響額は約 48 億円、主な内訳といたしましては、未利用地の売却処分による影響額が約 2 億円、各種基金の設置目的に沿った処分による影響額が約 25 億円などでございます。</p> <p>次に、人件費の削減といたしましては、これまでの影響額は約 58 億円、主な内訳といたしまして、職員数の削減、特別職の報酬カットや職員給与の昇給延伸などの抑制、手当の引下げによる影響額が約 43 億円、議員等の定数削減や手当の見直しが約 10 億円、学校用務員の非常勤化をいたしまして約 2 億円などでございます。</p> <p>次に、維持管理費などの削減額といたしまして、これまでの影響額は約 5 億円、主な内訳といたしまして、佐貫保育所と佐貫第二保育所の統合による影響額が約 2 億円、公共施設の管理運営といたしまして指定管理者制度の導入などによる影響額が約 9 千万円、市営バスの廃止が約 3 千万円、公共借地の見直しとして約 3 千万円などでございます。</p> <p>最後に補助金や交付金などの削減額といたしましては、これまでの影響額は約 6 億円でございます。主な内訳といたしまして、補助金等の見直しによる影響額が約 5 億円などでございます。</p> <p>総合計といたしまして、約 117 億円の影響額でございます。</p> <p>このような状況になっております。以上で説明を終わらせていただきます。</p>
<p>総務課長</p>	<p>説明は終わりました。</p> <p>これからご質問をお受けしたいと思っております。ご質問等ありましたら、挙手にてお願いいたします。順番で終わったごとに回して参りますので、よろしくご協力お願いいたします。</p> <p>それでは、ご質問をお受けいたします。</p>
<p>(市民①)</p>	<p>前日出た質問に対して今後補足はつきますか。各会場の意見に対する回答を踏まえて補足をつけないと、各会場同じような質問で終わってしまいます。「こういった質問があった。」という事例を話してほしいです。</p>

総務部長	先日、第 1 回の説明会を湊の市民会館で開催したところです。ご提言を活用してスムーズな進行を心がけていきます。
(市民②-1)	この説明会を周知する回覧について、5 W 1 H の「誰が説明するか。」が欠けています。基本的な情報は入れるべきではないですか。
市長	至らなかった点はお詫び申し上げます。また、このご意見を今後の参考にしたいと思います。
(市民②-2)	市役所に労働組合はありますか。
総務部長	ございません。
(市民②-3)	では、人件費削減について、職員代表に別個に説明していますか。
総務部長	この件については、市長から全職員に説明がありました。また、部長級が出席する庁議を通じてこの件を含めた各重要案件を説明しています。
(市民②-4)	週刊誌のインタビューにあったような、職員数削減以外の具体的な歳出削減策はほかに何がありますか。また、勸奨退職や希望退職も職員削減策に入っていますか。
総務部長	現行の市の定員適正化計画では、平成 27 年度に 500 人を目標にしています。なお、現職員数は今年の 4 月 1 日現在 508 人で、今年度の退職者 40 人と新規採用 3 人で 37 人の減となることから、500 人以下という目標は達成しています。また、新しい適正化計画を 1 年前倒して、5 年で約 90 人を削減する予定です。なお、勸奨退職は現在も実施しています。
(市民②-5)	勸奨退職の場合、退職金の上乗せをしていますか。
総務部長	現在は、勸奨退職を理由とした上乗せは行っていません。
(市民②-6)	島根県海士（あま）町は、富津市と同じような財政状況で、財政破たんを防ぐために、町長が自身の報酬を 40% 減・職員の給与を 30% 減としています。また、住民の年金生活者が寄附を行っています。これを参考までに。また、富津市の監査は年何回行っていますか。
総務部長	決算監査は年 1 回、また、例月監査を行っています。
(市民②-7)	では、監査委員から市執行部に金の使い道について意見はありましたか。

<p>総務部長</p> <p>（市民②-8）</p>	<p>個々の監査でご指摘は頂いています。</p> <p>東電含め、固定資産税が落ち込むことは分かっていたはずなのに、なぜこのような事態になってしまったのですか。また、電源立地交付金で、学校の耐震化と、消防防災センター・富津中学校の新校舎建設を行ったとありますが、特に、富津中学校の新校舎の当初予算と決算はどうなりましたか。</p>
<p>企画財政部長</p> <p>（市民③-1）</p>	<p>東電からの税収については平成 23 年度がピークで 35 億円弱。平成 26 年度では、25 億円程度。新たな設備投資もなく減価償却が進むため、将来的に目減りすることはすでに考慮しています。法人市民税は、これまで 2 億円あったものが、東日本大震災以降入らない状況です。電源立地交付金は東電開設時・増発時に学校・道路の整備に使用しました。新校舎については決算ベース 20 億円程度で、主にドーム（多目的広場）の整備事業に充てました。耐震化事業は、平成 18 年度から調査を行い、補強工事は平成 21 年度～25 年度に 11 校で実施して約 20 億円弱で、関連工事を含めると 21 億円程度かかっています。</p> <p>耐震化について、個々の内訳は。</p>
<p>企画財政部長</p> <p>（市民④-1）</p>	<p>11 校 28 棟で実施し、各校の内訳もあります。</p> <p>富津市における人口減少の原因、歳出の削減策がはっきり見えてきません。赤字になった時点で経営者失格です。民間企業ならトップは交代です。いつまでにどのくらい何を行うか明示しないと安心できません。今の時点でどの程度行っているか示してほしい。</p>
<p>副市長</p> <p>（市民④-2）</p>	<p>有識者 5 名を入れた経営改革会議を構成します。第 1 回は 10 月 31 日に実施し、皆様のご提言を交えながら今後の方針を決めていきます。</p> <p>自身の経験上、同じようなことをしようとしたらクビだと言われた。まず、具体的な決意表明をするというのがリーダーに求められる資質です。決意があって、あらゆる方策を検討する必要があります。有識者を入れるだけで満足しないでください。そして、決意表明をしてください。「いつまでにどの事業をどのくらい削減することで、5 年後にこういう姿にするのか。」そこまでやらないと有識者会議に意味はないし、その姿勢を見せてほしい。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>副市長の回答にありましたように、有識者会議を進めております。現在、申し上げられることとして、来年度の当初予算を一般財源の 110 億円でできるように各部局に通知してあります。</p>

<p>(市民⑤-1)</p>	<p>有識者会議のメンバーとその人数、市議会議員 18 人から市執行部に財政状況に対する意見があったか確認したい。</p>
<p>総務部長</p>	<p>有識者会議は大学教授 2 人、公認会計士 1 人、会社経営者 1 人、県職員 0B1 人の 5 人を考えております。また、説明を議会にした上で、どのような経営改革をするのかについて討論しております。具体的なことについては、議会の「改革検討委員会」で検討していただいています。</p>
<p>(市民⑤-2)</p>	<p>では、議会は資料にあるようなことを検討しているということですか。</p>
<p>総務部長</p>	<p>議会の「改革検討委員会」では、様々な観点で検討されていると聞いています。</p>
<p>(市民⑤-3)</p>	<p>具体的な内容は市執行部では分からないということですか。</p>
<p>総務部長</p>	<p>市執行部は入りませんが、議会内で検討していると思います。</p>
<p>(市民⑥)</p>	<p>具体的なこととして、「身の丈」とはどの程度のことですか。 また、高速道路ができるとき、「富津に来る人が増えて豊かになる。」とおっしゃっていましたが、現に人は増えましたか。結果的に赤字ではないですか。他地域の方は降りないし、地元竹岡の高速バスは一般道に降りなければいけないです。今度、バスターミナルができるというので、状況がよくなるという話は耳にしますが、どのくらいお金を使いますか。人が増えるような効果もなくしわ寄せだけが竹岡の住民に来るのではないですか。それに大貫や青堀の人はより近い君津のバス停に行ってしまうでしょう。不便と分かっているものに 10 億円も 20 億円もかけて赤字を市民に押し付けるなんておかしいではないですか。バス停が遠くなって年配者はどうするんですか。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>1 点目の「身の丈」については、市税・地方交付税など一般財源の 110 億規模で予算を組むことを基本としています。高速バスターミナルは、バス会社をお願いして、現行の一般道を迂回するルートにしています。浅間山の計画では、隣接した駐車場と接続するバスの運行を考えています。計画が実現すれば運行本数や新しい路線が増える見込みなので事業の効果を再検証したうえで推し進めたいです。</p>
<p>(市民⑦-1)</p>	<p>竹岡や上総湊の高速バス利用者は把握していますか。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>恐縮ではございますが、手元にデータはございません。なお、白浜まで運行している高速バス約 60 便のうち、竹岡や上総湊に来るバスは半分程度となっております。</p>

<p>(市民⑦-2)</p>	<p>こちらでバス会社に確認を取ったところ、竹岡で 5,400 人／年。往復でその半分、さらに 365 日で割ると、乗車人数は 8 人です。上総湊では、22,000 人／年なので、同じ計算をすると乗車人数は 31 人です。この事実を踏まえた費用対効果を考えていただきたい。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>国土交通省から位置決定通知をいただいております、その際の需要予測では天羽地区全体、佐貫、及び鋸南などからの利用者を考慮すると、1 日当たり約 190 人を見込んで計画しています。なお、現行の高速バスストップ事業は、全てで 5 億円見込んでいます。これにあたっては、国の交付金などを活用します。</p>
<p>(市民⑧)</p>	<p>提案として、羽鳥野は住宅が造成されるなかでバスターミナルがありますが、浅間山も同様の住宅造成がないと費用がかかるだけではないですか。</p> <p>もう一つ、職員提案にこういったものがあるかお聞きしたい。理由として、職員・市民の提案が増えていくだろうということで、先ほどの方がおっしゃったような「不退転の決意」を表していただき、提言・提案を活用してほしい。</p>
<p>副市長</p>	<p>職員からの提言等については、経営改革につながることも考え、大変小さなことかもしれませんが、さまざまな提案をいただいてこの 4 月から窓口対応における改善策をいくつか実施しております。経営する側が意見を受け止める姿勢を示し、様々な立場の職員から意見が出ることを期待しております。</p>
<p>(市民⑨-1)</p>	<p>高速バスターミナルは市から要請していますか。あるいは高速道路会社またはバス会社から提案をいただいているのか明らかにしてほしい。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>富津市からの要請となります。</p>
<p>(市民⑨-2)</p>	<p>浅間山の太陽光発電所は順調に見えるが、それにかかる予算や総費用はどうなっていますか。太陽光発電の買い取り値段が下落傾向なのでそこを踏まえて回答してほしい。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>浅間山の砂利採取跡地を利用した太陽光発電所のうち、7 月から南エリア 40 ヘクタールで運用を開始し、27 メガワット（27,000 キロワット）＝16,500 世帯分の発電を行っています。民間事業者が 100 億円単位の規模で行っていて、1 キロワットあたり 42 円で売電しています。</p>
<p>(市民⑨-3)</p>	<p>それによって市の収入はどうなるのかをお聞きしたい。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>来年度から数千万円単位の収入となる見込みです。</p>

<p>(市民⑩-1)</p>	<p>今、一番前に座っています。市民の代表は市長であり、ほかの方は選挙の洗礼を受けていないわけです。主に企画財政部長が説明していますが、ネームプレートを隠さず説明して、責任を取るという姿勢を見せてほしい。あまりにも情けない。細かい説明が数々あるが、あくまで私は市長からお聞きしたい。「責任を取る」という姿勢を市長自ら示しても良いのではないですか。</p>
<p>市長</p>	<p>様々なご意見をいただいたなかで、平成 31 年度の赤字を黒字に転換しなければならないということで、「では何ができるか」を内部の意見や経営改革会議を通して、31 年度の赤字の累積を黒字にしていきたいということでございます。これは、私一人ではできないことなので、職員・市民の方とともに進めて参りたいと考えております。</p>
<p>(市民⑩-2)</p>	<p>どうも決意表明とは取れません。「隄(かい)より始めよ」という言葉を市長はご存知ですか。</p>
<p>市長</p>	<p>身を持ってやらなければならないということでございますが、私も給料カットを考えております。</p>
<p>(市民⑩-3)</p>	<p>それだけでしょうか。話が戻りますが、総務部長の名前も遠くからでは見えません。</p>
<p>(市民⑪-1)</p>	<p>いろんな意見がありますが、そもそもこうなった具体的な理由はなぜですか。収入がなければ支出はできないわけです。赤字になるのは使い過ぎであって、人件費だけの問題ではないと思います。5 カ年計画などの計画はきちんと遂行できていますか、市長お願いします。</p>
<p>市長</p>	<p>未達成のものもありますが、計画内で行っております。計画外で、その場面でないとできないものは随時対応しております。</p>
<p>(市民⑪-2)</p>	<p>計画内で、予算不足で執行できないということはなかったですか。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>計画の施策と東日本大震災のような事態への対応があるなかで、結果的に、「身の丈」から見ると計画内容が過大であったと認識しております。</p>
<p>(市民⑪-3)</p>	<p>企画財政部長だけでなく、みんなに反省してもらいたい。「～だろう」という進め方のなかで、東電が電気の買い取りを行わないという話も聞きます。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>再生可能エネルギーについては、経済産業省が入って、東電が送電網を整備しています。</p>
<p>(市民⑪-4)</p>	<p>整備状況ではなく、東電の電気買い取り枠が限界を迎えている状況</p>

	<p>のなかで、契約中の電気買い取りを解除するという話を聞くということです。</p>
<p>市長</p>	<p>東電では、ある時点までは受け付けて、それ以降は受け付けないという話を聞いております。なお、20 年契約となっております。</p>
<p>(市民⑩-5)</p>	<p>収入以上のことはしてほしくないわけで、1 年単位で計画を立ててもらい、財政に余裕を持たせていただかないと立て直せないのではないですか。</p> <p>また、富津中学校のドームにしても、多目的広場という言葉で表していますが、その実は体育館ではないですか。言葉を換えていて市民に実態が伝わっていません。計画をした時点で本当は分かっていたのではないですか。この責任は市長が今後どうするか真剣に考えていただきたい。また、ほかの方も市民の財産を預かっているだけだということを実感していただきたい。</p>
<p>(市民⑫-1)</p>	<p>抜本的な見直しの職員数削減について、自然減をあてにしたような計画では抜本的とはいえないのではないですか。計画も見直してほしい。</p>
<p>総務部長</p>	<p>先ほどの説明は、「計画にあった 500 人という目標まであと 8 人」ということで、すでに 500 人を割っております。来年度は 471 人になる予定です。</p>
<p>(市民⑫-2)</p>	<p>その人数から更に減らすのが「抜本的な見直し」ではないですか。</p>
<p>総務部長</p>	<p>さらに、勸奨退職などに力を入れていくことになると思います。非常勤や特別職も対象に検討する決意です。</p>
<p>(市民⑬)</p>	<p>私は、市民にも責任があると思います。市民が無関心です。今回初めて関心を持ったのではないかと思うくらい認識が遅すぎます。市に何でも頼むのではなく、少しは市民が共同で取り組むべきです。</p> <p>また、納税の義務を怠っている人たちにも責任があることをはっきりと言ってもらいたい。</p> <p>また、区長が抱える世帯についても、30 世帯から 600～700 世帯とばらつきがあるので、エリアの見直しをお願いしたい。</p> <p>また、回覧と言いながら戸別配布が多く、ほとんどゴミ箱行きなので、「広報ふつつ」を拡大して周知するなど見直しすべきではないですか。</p> <p>また、天羽地区に送る回覧物は宅配便でよいのではないですか。</p> <p>また、天羽行政センターは待ち時間がない状況ですが、ほかでは 30 分待ちの状況もあります。待ち時間が早いだけが市民サービスなのか、住民票の発行数を考えればあの窓口の人数は多すぎます。</p> <p>また、公民館の利用申請は天羽行政センターでやってもいいのでは</p>

	<p>ないですか。どうも縦割り過ぎます。半分にするあるいは合併するなど、皆さんには目に見える改革をしてほしい。</p>
（市民⑭-1）	<p>平成 9 年頃に聞いた話ですが、東電に市の土地を売却したという話は本当ですか。</p>
市長	<p>ございます。</p>
（市民⑭-2）	<p>ということは、そのころから市の財政は悪化していたということですか。</p>
市長	<p>足りなくなる可能性があるという話だと思います。</p>
（市民⑭-3）	<p>それから 15 年以上経過して、市長も交代したと思いますが、交代後が佐久間市長ですか。</p>
市長	<p>平成 9 年当時は白井前市長です。</p>
（市民⑭-4）	<p>その頃に財政悪化がわかっていながら、破たん寸前まで対策をしなかったのはなぜですか。</p>
企画財政部長	<p>平成 11 年に「財政非常事態宣言」が発令されたなかで、平成 17 年に解除と先に説明したのが当時の状況でございます。その時は人件費削減が中心で、事務・業務全般の見直しまで至りませんでした。今回、財政調整基金が残りわずか 2 億円となったことで、さらなる経営改革の取り組みを行うことになっております。</p>
（市民⑭-5）	<p>東電が赤字になった場合を想定した市政運営はしていなかったのですか。</p>
企画財政部長	<p>想定していた固定資産税の減価償却分に加えて、東日本大震災後の法人市民税及び新規の設備投資見送りについて、正確な数字を把握していなかったことは反省しております。</p>
（市民⑭-6）	<p>もし、破たんした場合は、住民税などが引き上げになる可能性が高いのではないですか。</p>
企画財政部長	<p>北海道夕張市の事例も説明しましたが、夕張市と富津市では状況が異なるので、市民にさらなる負担を強いることは考えておりません。</p>
（市民⑮）	<p>各小学校区でこの説明会があるなかで、子どもたちや子育て世帯が「富津市はまずいだらう。」という危機感をもちます。それにより、更なる人口減少につながる事態が考えられます。財政健全化はもちろん、若い世代に希望を持たせるための施策も同時進行でなければいけません。</p>

<p>市長</p>	<p>んがお考えはありますか。</p> <p>人口減少の歯止め・人口増加を図るために、定住奨励の施策を進めています。区画整理にしても地価がこの状況のなかで大掛かりな実施は難しいですが、小規模な宅地開発や農地の規制を外すことも国にお願いしたいと考えています。それを含めて定住を推進し、住みやすい、安全・安心なまち、安心して子育てできるまち、を目指すことが施策のポイントとなります。</p>
<p>(市民⑯-1)</p>	<p>市有財産として売却した土地の用途は何ですか。</p>
<p>総務部長</p>	<p>大小ありますが、隣接する宅地の一部にするという事例や、遊休地 2 億円分を売却したという事例があります。用途は多岐にわたりますので、宅地の一部や寮・駐車場にするなどあると思います。</p>
<p>(市民⑯-3)</p>	<p>広報に掲載されている市有財産について、区画を整理して宅地として購入できる状態にしてもらえますか。それによって世帯の増加とまでいかなくても、減少するペースを抑えることになると思います。他自治体への急激な流出を防ぐ意味でも実施してほしい。</p> <p>また、私は袖ヶ浦市役所にも行きますが、入った時にあらかじめ物件を聞いていただけたので好印象がありました。</p>
<p>(市民⑰)</p>	<p>資料の内容をみると「出ていけ。」と言われているようにしか思えません。税金・年金・保険みんな悪いということです。竹岡小学校は全校で 50 人そこそこですが、学区内でもほかの小学校に行ってしまう例があります。年金が下がるのに税金は上がるではとてもじゃないが住めません。富津に住めるようにしてほしい。「富津はいいところだ。」と言えるようにしてほしい。</p>
<p>(市民⑱-1)</p>	<p>まず、私たちがこの事態を知ったのはインターネットです。私たちは市を信頼して納税しているわけです。それなのに、この事態になるという説明がネット上やメディアよりも後になったというのは納得いかないし、裏切られた気がします。こうなった経緯を教えてください。</p>
<p>副市長</p>	<p>メディアの報道で「破たん」を意味する言葉があったなか、市民の皆さまにご不安を与えたことはお詫び申し上げたいと思います。また、メディアに取り上げられた理由としては、先に記者会見を行ったわけではありますが、「破たんする」という内容ではありません。「このままでは、5 年以内の財政再生団体になる可能性があるのも、今の段階で改革をさせていただきたい。」というお話をさせていただきました。そのやりとりのなかで、財政再生団体の具体的な説明をした際、夕張市の事例を紹介したのは事実ではありますが、その部分がクローズアップされて皆さんに発信されてしまったことは、大変反省しているところがあります。残すのは、一日でも早く明るいニュースと、皆さんのご協</p>

<p>(市民⑱-2)</p>	<p>力のおかげで財政状況が改善しておりますということを伝えるほかないと考えております。大変ご心配をおかけしておりますが、「来年破たんする」というわけではないことはご理解いただきたいと思います。</p> <p>ここまで説明を聞いていますが、この景気のなかで一番大事なことは税込確保で、その次が人件費削減ではないですか。この資料を見る限りでは振ってある番号が優先順位を示しているように思われます。大企業の投資もなく、滞納収税の強化だけでは効果は知れているのではないですか。これでは「抜本的な見直し」は来年以降も実現しないのではないですか。説明で、企画財政部長は「よそと違う。」と言っていたが、税金が厳しいのは他も同じです。それに対する認識が足りないのではないかと思います。肝に銘じてください。夕張の方々がどれだけ苦勞して財政を再生したと思っているのですか。上司が部下に指示を徹底して、残業やそれに伴う手当がなくなるように努力すべきです。そうでなければ、来年も同じような説明会を開くことになりまし、破たんしてしまうことになりまし。「足りないからもらう」のではなく、「預かったものを還元する」という緊迫感が見えてこないのがっかりしました。</p>
<p>(市民⑲)</p>	<p>有識者会議そのものは必要だと思いますが、短期間で終わらせてほしい。そして、職員が様々な資料を出すだけで終わるような事態は避けてほしい。</p> <p>また、議会とよく連携を取り、市民から寄せられるご意見について、議会と一緒に研究できる体制をとってほしい。また、いきさつ・経過を常にホームページで報告していただきたい。</p>
<p>(市民⑳)</p>	<p>要望で、各会場の説明会で上がったご意見を個別にまとめて皆さんにお配りしてほしい。都合のいい意見だけをかいつまんでもらいたくはないし、そうしないと皆さん納得しません。</p> <p>また、議員がこの説明会で何も言わないのが不思議です。とにかく私が言いたいのは、説明会で上がったご意見を個別にまとめてお配りしないと、皆さん納得しないということです。</p>
<p>(市民㉑-1)</p>	<p>議事録を簡潔でいいのでまとめてほしい。</p> <p>また、竹岡小学校の児童数は 43 人ということです。</p> <p>また、東電は赤字の現状ですが、石原前東京都知事が行ったような「外形標準課税」方式なら、資本金 1 億円の企業から当面は税金を確保できます。富津市の場合はそういう課税方式を採っていますか。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>当市では行っていませんが、国でその方式を検討しているとお聞きしています。</p>
<p>(市民㉑-2)</p>	<p>それは中小企業では来年度の導入を見送るという話だと思います。導入した場合の税金がわかれば教えてほしい。また、『50 年富津大戦争』</p>

<p>企画財政部長</p> <p>(市民㉒-1)</p>	<p>という著書では、現市長のお父さんのころは市議会議員が 36 人いて、現在は 18 人ということですが、私は安易に議員定数を削減してほしくはありません。</p> <p>ここで、もう一度、市の人件費はどういったものか確認したい。</p> <p>一般職員の給与、非常勤・特別職・議員の報酬が人件費となります。なお、先ほどの東電については、法人市民税の均等割りについて 300 万円納めていただいています。</p>
<p>総務部長</p> <p>(市民㉒-2)</p>	<p>各地区の会場について、人数計算すると約 2,000 人程度の参加者で、人口からすると説明できるのが 1 割にも満たないと思います。また、個々のような狭い会場では、顔を知られたくない人もいます。富津公民館や中央公民館は多目的室となっていますが、大ホールにしてもっと多くの方が説明会に来られるようにしてほしいし、そうしなかった理由もお聞きしたい。</p>
<p>総務部長</p> <p>(市民㉓)</p>	<p>各小学校区を回らせていただきたいというのが基本的な考えでした。また、湊の市民会館のように大きい会場を使わないわけではなく、各地区の実情に合わせて場所を決定しているので、ご理解いただきたいです。</p> <p>各地区で場所を指定できますか。</p>
<p>企画財政部長</p> <p>(市民㉔)</p>	<p>自分の地区でなければいけないということではなく、どの会場にも参加いただけます。</p> <p>富津市は、人口は減っているのに世帯数は増えていますがこれは市にとってプラスの材料となりますか。</p> <p>所得税と固定資産税など、全体を見ると減収の方向になります。</p>
<p>総務部長</p> <p>(市民㉕)</p>	<p>同様の説明を行う可能性はありますか。</p> <p>このテーマについて 11 カ所回りますが、必要があれば他のテーマを含め行います。</p> <p>公民館について、大ホールを使用しない理由をまだ聞いていません。</p>
<p>総務課長</p>	<p>多くの方が来られることは予測しておりましたが、各地区の割り振りのなかで、会場を選定しておりますのでご理解ください。</p>
<p>市長</p>	<p>最後に市長から、挨拶申し上げます。</p>
<p>市長</p>	<p>本日は、夜分遅くまでご参加をいただきまして、誠にありがとうございます</p>

総務課長	<p>ございました。皆さま方からいろいろとご指摘いただきました。</p> <p>今後、性根を据えて改革に進めていきたいと考えております。皆さま方には、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>今までご要望ありましたことにつきましても、できる限りのことをお答えさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>本日は、誠にありがとうございました。</p> <p>長時間ありがとうございました。</p>
------	---

以上